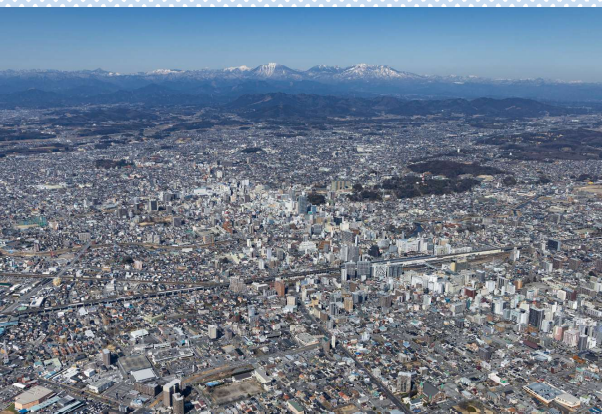


1 よりよい宇都宮を目指して



1 空から見た宇都宮市

わかるかな？

持続可能な社会って聞いたことがあるかな？

次の言葉のうち、持続可能な社会に関する言葉を選びましょう。

- ① ESGs
- ② NCC
- ③ こころのユニバーサルデザイン運動
- ④ もったいない運動

正解は一つは限らないよ。



▶ 探究学習への準備 社会の課題に目を向け、自分のテーマを見つけよう

振り返り 小学校からこれまでの学習を振り返ってみると、私たちが生活する社会について様々な視点から学んできました。例えば、家族や学級、学校、地域などの社会集団の一員として、よりよい生活を築くための方法を考えたり、協力したりしています。また、学校のまわりを探検するところから、市や県の様子、日本や世界各地の特色などへと少しずつ視野を広げ、今は、地球規模で発生する課題についても考えられるようになってきました。

地球的課題は、国や地域によって現れ方や影響、対策などの違いがあり、さらに新しい課題が生まれ続けていることも学習しました。また、日本国内にも、少子高齢化、情報化、グローバル化をはじめ、地震や風水害などの自然災害、資源・エネルギーなど、現在や将来の社会に大きな影響を与える数多くの課題があります。そして、これらの課題を解決するためには、「持続可能性」という視点が大切だといわれています。

社会を変える人間の力 こうした学習を通して、環境や社会の変化が、人々の生活に影響を与えてきたことだけでなく、変化に直面した時の人々の行動が、環境や社会をさらに大きく変化させてきたことなど、相互に影響し合う関係が見えてきました。「宇都宮学」の中でも、「先人の知恵」や、インタビュー記事などに着目して、多様な人々の願いや努力、工夫などを調べてみると、社会を動かす人間の力の大きさについて、考えることができます。

これからの社会を担う私たち 今を生きる私たちが、過去と現在、そして未来をつなぎ、持続可能な社会を実現するためには、一人一人の積極的な社会参画が重要だといわれます。社会に見られる課題の中で、自分が関心をもっていることは何か、その解決に向けて中学生でもできることは何かを考え、多様な人々と協働してみることで、誰かと話し合ってみたいテーマを決めたり、経験や知恵を出し合いながら一緒に行動したりできる身近な社会をはっきりさせることなどが大切です。

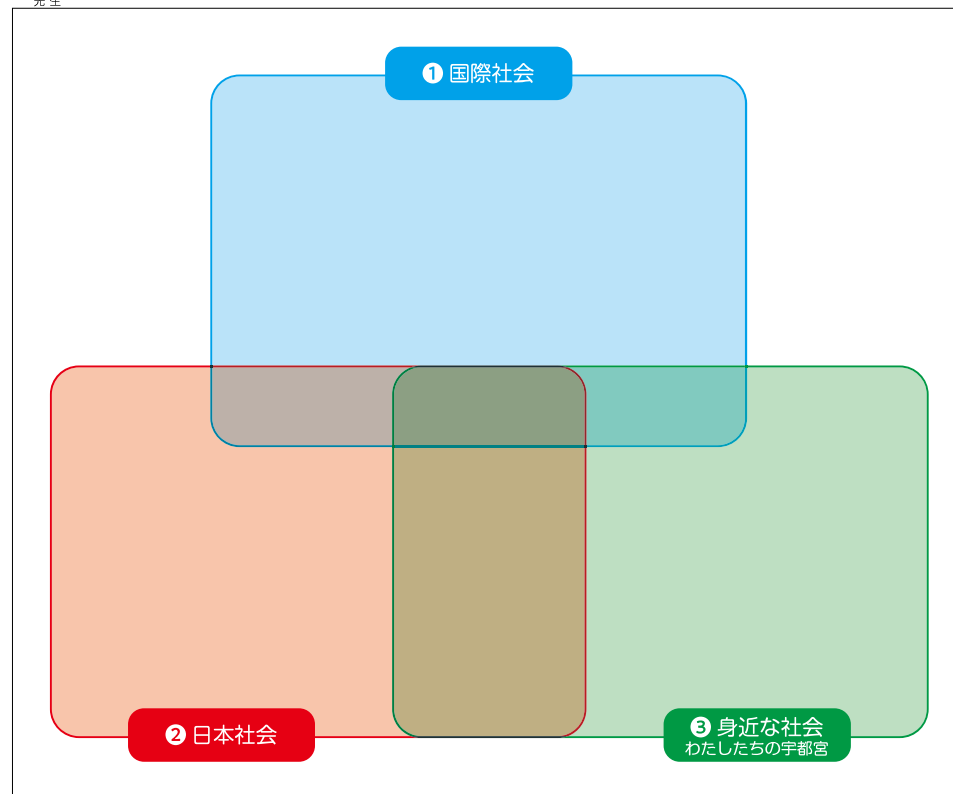
まずは、様々な授業を通して学習してきた、持続可能な社会の実現に向けて解決すべき課題を、国際社会、日本社会、そして、私たち「宮っ子」として身近な、宇都宮市の視点から整理して、自分の関心などを明らかにしていきたいと思います。

学習問題

よりよい宇都宮をつくるために、私たちはどのようなことができるのだろう。



いろいろな授業を振り返って図を整理し、話し合ってみよう。



私は、少子高齢化や過疎・過密など、日本の人口の特色について関心があります。

国内では、過疎により社会の維持が困難になっている地域も増えているみたい。



子どもの保育や高齢者の介護など、社会全体での支え合いも大切になってくるね。



地域で担い手が不足し、住民組織の共助機能が低下すると、災害への対応も心配です。

私は、共生社会の実現に向けて、子どもや女性、外国人の人権について考えてみたい。



学習問題

宇都宮の「今」と「未来」をつなぐには、どのような視点や方法を手掛かりに考えていけばよいのだろう。



◆宇都宮市民憲章

宇都宮市は、恵まれた自然と古い歴史に支えられ、二荒の森を中心に栄えてきたまちです。このふるさとに誇りをもち、みんなの力で豊かな未来を築くため、市民の誓いを定めます。

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくりまします。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくりまします。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくりまします。

1980(昭和55)年4月制定



◀将来のうつつのみや像(都市像) ポケット版へのリンク

▶宇都宮市のまちづくり

私たちのまち宇都宮は、宇都宮市に住む先人たちが豊かなまちづくりに努めてきた結果、現在のようなまちに発展してきました。

こうした宇都宮を未来につなげていくための市民の誓いとして、宇都宮市民憲章が定められています。私たちがこの誓いを継承し、「持続可能な社会」の実現を視野に、よりよい宇都宮について考えていくためには、どのくらい先の未来を思い描いたらよいのでしょうか。また、世界や日本の課題は、宇都宮市では、どのようなかたちで現れ、10年後、30年後、50年後の未来では、解決されているのでしょうか。

宇都宮市では、2018(平成30)年に「第6次宇都宮市総合計画」を策定しました。計画では、2050年の「将来のうつつのみや像(都市像)」として「輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつつのみや」が掲げられ、その実現に向け、様々な取り組みを行っています。



望ましい未来の姿を描くことから現状を見つめ、今取り組む課題を決めて、目標達成に向かう思考方法は、SDGsの考え方と同じですね。

▶宇都宮市が抱えている課題



現代社会の特色は、宇都宮市では、どのように現れ、これからどうなっていくのだろうか？



グラフから読み取った情報をもとに、話し合ってみましょう。

1 人口減少

宇都宮市の人口は、2018(平成30)年をピークに減少に転じました。これからは、人口が減っていく中でも経済活動を維持する仕組みを考え、実現していく必要があります。

2 少子高齢化

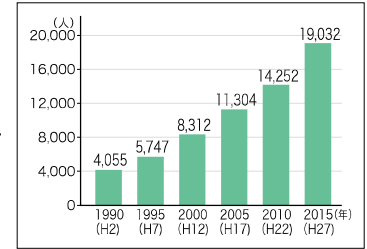
宇都宮市の人口を年齢別にみると、高齢者の割合が高まる一方、子どもや働き手となる世代の割合は低下しています。生産人口(15～64歳)の減少を抑えながら、高齢者が自立した生活を送れる環境を整えるなど、将来にわたって、全ての世代が安心して暮らすことができるまちづくりが求められています。

3 市街地の拡大と密度の低下

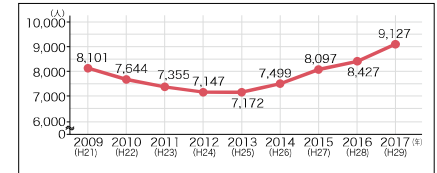
これまで宇都宮市では、人口増加やマイカーの普及により、郊外へ商業や住宅などの市街地が拡大してきました。しかし、人口減少や超高齢社会を迎える中で、便利なまちを維持するためには、まちの中心部やその周辺に必要な機能を集約するなど、将来を見据えたまちづくりに取り組む必要があります。

4 グローバル化

宇都宮市でも多くの外国人が暮らして、地域社会や学校でも、多様な文化や習慣に触れたり、共に学んだり、働いたりする機会も増えています。そのため、互いの文化や価値観を尊重し合いながら、共に生きていける多文化共生の社会をつくっていく必要があります。



出典：国勢調査(総務省)



出典：国勢調査(総務省)

▶世界を変えるための17の目標「SDGs」

2015(平成27)年、国際連合は、地球規模の課題の解決を通して、よりよい社会を実現するために「持続可能な社会」の考え方のもとづく開発目標(SDGs)を採択しました。SDGsは、世界が直面する課題を社会・経済・環境の3つの側面と、相互の関係性からとらえ、その解決に向けて考えられた17の目標(ゴール)です。現在、「誰一人取り残さない」ことを約束にして、2030年までの目標達成に向けた取り組みが、世界中で進められています。

総合順位	自治体名(都道府県)	総合得点(100点)
1位	京都市(京都府)	70.37
2位	北九州市(福岡県)	70.13
3位	宇都宮市(栃木県)	68.82
4位	豊田市(愛知県)	68.57
5位	岡山市(岡山県)	68.53

出典：「全国市区サステナブル度・SDGs先進度調査」日経グローバル(2018年)

1 全国市区の「SDGs先進度」総合ランキング



1 選定証を授与された佐藤市長(左から2人目)

国際機関、政府、地方自治体、企業、学校だけでなく、私たち子どもを含めた全ての人に、それぞれの立場から目標達成のための行動が求められているんだって。

何年、何十年も先のことまで考えるって、何だか難しそう。

宇都宮市は、「誰一人取り残さない」という約束をどのように果たそうとしているんだろう？

誰もが安心して暮らせる宇都宮を思い描きながら、今の自分ができることを考えていきたいな。

▶SDGsと宇都宮市



宇都宮市では、持続可能な社会、よりよい社会を実現するために、どのような取り組みをしているのだろうか？

宇都宮市は、2018(平成30)年には、民間企業による全国815市区を対象にした「SDGs先進度調査」で、全国総合第3位の評価を得ました。2019(令和元)年には、持続可能な開発を実現することが可能な都市として、栃木県で初めて「SDGs未来都市」に選定されました。



社会の変化に合わせて、まちづくりも変わっていくのかな？ 2025年の私は、どこで、どんな暮らしをしているんだろう？



その時々で、望ましい社会やまちの姿も変わってくるから、今のことも、これからのことも考えてみた方がいいかも。



いろいろな人が暮らしている社会について探究する場合には、立場や根拠を明らかにして議論することも大切になります。

1 「スーパースマートシティ」とSDGsへの貢献

宇都宮市では、人や企業から選ばれ、将来にわたり持続的に発展し「子どもから高齢者まで誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができる」2030年ごろのまちの姿として「スーパースマートシティ」の実現を目指しています。

「スーパースマートシティ」は、100年先も発展し続けるまちの姿である宇都宮市独自の「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」を基盤に、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が「人づくり」の取り組みや「デジタル技術」の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」です。

「宇都宮」と、SDGsの達成の年「2030」で検索したら、こんな図を見つけたよ。



「スーパースマートシティ」、「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」で何だろう？

そう思うよ。ロゴマークのイチョウの数や色からも関連が読み取れるからね。

私は、最先端の技術に着目して、ライトラインについて調べたいと思っているんだけど、「持続可能性」や「まちづくりの基盤」という点からも考えてみる必要がありそうだね。

近所に新しい施設ができた、道路などが整備されたりしているけれど、経済、社会、環境の視点から「持続可能な開発」が進められているってことでいいんだよね？

まちづくりの原動力が人だけじゃなく、デジタルってどういったことなんだろう？

私は、小学校版「宇都宮学」の宇都宮の自然や、理科の学習から「脱炭素社会」について調べてみたいな。

SDGsも、スーパースマートシティも、目標とする年が同じなんだね。

だから、宇都宮市のまちづくりの取り組みとSDGsは、深くつながっているんだね。

1 持続可能なまちづくりの基盤「NCC」 → p.120

「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」は、運転できない人にも移動しやすく、誰もが、商業や医療、教育などの様々な都市の機能や魅力を楽しみながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる、100年先も発展し続けるまちの姿であり、これからのまちづくりの基盤です。



2 絆を深め、共に支え合う「地域共生社会」 → p.128

「地域共生社会」は、「NCC」の強みを生かして、性別や国や地域、障がいの有無などに関わらず、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいをもち、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる、また、地域に思いやりがあふれ、絆を深めながら、孤独や孤立に寄り添い、支え合うことができる社会です。



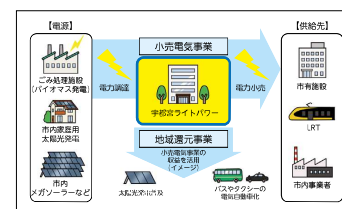
3 人・モノ・情報が行き交う「地域経済循環社会」 → p.140

「地域経済循環社会」は、誰もが自分の力を最大限に発揮することができるとともに、地域の事業者の成長や地域内での消費の拡大を図るほか、世代産業の集積や起業、大谷やプロスポーツなどの地域資源の活用などにより、人・モノ・情報の交流をすることで、地域内において経済が循環する豊かな社会です。



4 未来への責任を果たす「脱炭素社会」 → p.148

「脱炭素社会」は、本市独自の「もったいない」のころのもと、公共交通の利用などによる、脱炭素型ライフスタイルの推進や再生可能エネルギーの地産地消、森林保全などにより、二酸化炭素を出す量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を実現し、100年先も発展し続けられる宇都宮を未来世代に残すことができる社会です。



5 まちづくりの原動力となる人とデジタル → p.146

宇都宮市では、「スーパースマートシティ」の実現に向けた原動力として、まちづくりを支える「人づくり」と、暮らしをよくする「デジタル技術の活用」に関する取り組みを推進しています。

まとめる ひろげる



宇都宮市が目指すまちづくりの方向性は、「持続可能な開発」や「誰一人取り残さない」、「ウェルビーイング」などのSDGsの理念や目標などと一致する部分が多いため、現在、SDGsとの関連を明らかにしながら、まちづくりの取り組みが進められています。

私たち一人一人の行動が、SDGsの達成や宇都宮市の未来につながっていくという視点に立って、情報を集めていきましょう。



貧困をなくそう

世界中のあらゆる貧困を終わらせる。

1日**1.9**ドル未満で暮らす人々

貧困で苦しんでいる人への支援だけでなく、紛争や自然災害などで貧困状態になってしまう可能性がある人々を守ることも求められています。

飢餓をゼロに

全ての人に安全で栄養のある食料を確保し、あらゆる形の栄養不良を解消する。人や自然にとって持続可能な農業を推進する。

栄養不良の人々

飢餓で苦しむ人への食料を満たし、環境のことも考えながら、将来にわたって安定した食料の生産と供給の仕組みを開発していくことが求められています。

全ての人に健康と福祉を

子どもから大人まで、いくつになっても健康で安心して生活できるように福祉を推進する。

5歳になる前に亡くなる**子どもの数** (2019年)

520万人

医療環境の整備、性や病気の予防に対する正しい知識の提供や、健康などに関するプログラムの開発などの取り組みが求められています。

人や国の不平等をなくそう

同じ国の中、そして国と国との間にある不平等を改める。

世界の**8人のお金持ち**が世界の**半分のお金**を持つ

世界で見られる極端な格差をなくし、豊かさを皆で分け合える仕組みを作ることにより、貧困や飢餓などの問題の解決につながるはずです。

住み続けられるまちづくりを

全ての人が安全で暮らしやすく、自然災害に強く環境にやさしいまちをつくる。

世界の**半分以上**が都市に暮らす

まちの安全や利便性を高めるだけでなく、全ての人が快適に暮らせる工夫が必要です。また、地域に残る伝統や文化を守っていくことも重要です。

つくる責任 つかう責任

人や自然に負担をかけず、質が高く多くのものが得られる生産と消費の在り方を追求する。

世界の食料支援量と日本の食品廃棄量

ごみを減らしたり、再利用やリサイクルを徹底するなど、地球の限りある資源を使いながら、より多くのものを得る生産と消費の在り方が求められています。

質の高い教育をみんなに

子どもも大人も、いつでも学ぶことができる環境をつくり、誰もが平等に質の高い教育を受けられるようにする。

小学校に通えない**子どもの数** 5,900万人
中学校に通えない**子どもの数** 6,200万人

基本的な能力に加え、持続可能な開発について学ぶ機会を増やし、SDGsの新たな担い手を育てていく教育が求められています。

ジェンダー平等を実現しよう

性別に関わらず平等に機会が与えられ、全ての女性や女の子が能力を最大限に発揮できる社会をつくる。

主要な**ジェンダーギャップ**指数

「誰も置き去りにしない」社会を創るためには、性別による差別をなくし、女性が最大限に能力を発揮できる環境を作っていくことが必要です。

安全な水とトイレを世界中に

全ての人々が安全に管理された水と衛生的な環境を利用できるようにする。限りある水資源を将来にわたって使うための取り組みを進める。

安全に管理された**水**を飲むことができない人 約29% (22億人)
安全に管理された**トイレ**を使うことができない人 約55% (42億人)

汚れた水で命を落とす子どももいます。途上国では安全な水と衛生環境の確保が求められ、先進国では水資源を守っていき取り組みが求められています。

気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響を減らすための具体的な対策を考え、いまずくに行動する。

1950年から2100年までの**気温変化**(観測と予測)

先進国が、途上国に対して温室効果ガスを減らすための技術や資金を援助し、全ての国が一つとなって取り組むことが求められています。

海の豊かさを守ろう

よりよい社会をつくるために必要な海と海の資源を守る。海と海の資源を利用するときには、それを利用し続けられる方法を選択する。

世界の**水産資源**の状況

魚の取り過ぎや海の環境の悪化などが問題となっています。私たちが海とともに生きていくためには、海の環境や生態系を守っていくことが必要です。

陸の豊かさを守ろう

陸の生態系を守り回復し、将来にわたってその恩恵を受けられるようにする。永続続けられる方法で森林を管理し、砂漠化を防ぐ。土地の悪化を防ぎ、悪化してしまった土地を回復する。多くの種類の生き物が関わり合って生きていく環境を守る。

1年間で消える世界の森の面積 **約470万ヘクタール**
約**3万5,500種**の生物が絶滅する

私たちが将来自然の恵みを受け取りながら生きていくには、自然環境や生態系を守り、自然とともに生きていく在り方を考えていかなければなりません。

エネルギーをみんなに そしてクリーンに

全ての人が安く安全で近代的なエネルギーをずっと利用できるようにする。

世界の最終エネルギー消費における再生可能エネルギーの割合 (2018年)

環境に負荷をかけない再生可能エネルギーを利用しながら、エネルギーの無駄な利用を無くす取り組みが求められています。

働きがいも経済成長も

環境を守りながらも、将来にわたって経済成長を続ける。全ての人が働きがいと十分な収入を持った仕事ができるようになる。

5歳~17歳の働く**子どもの数** 約**1億5,200万人**

10人に**1人**

国や性別、障がいなどに関わらず、希望する全ての人に働きがいと十分な収入のある仕事を与えられ、持続可能な経済成長ができる社会が求められています。

産業と技術革新の基盤をつくろう

人々の暮らしや経済成長を支える、災害に強く丈夫な社会基盤をつくる。技術革新による産業の発展を推進する。

世界で**インターネット**が使われている割合

限りある資源の中で多くの人が豊かに暮らしていくためには、地球環境のことを考慮した新しい価値や産業を生み出す技術革新が必要です。

平和と公正を全ての人に

全ての人が法や制度で守られ、安心して暮らせる平和な社会をつくる。

紛争の影響下で暮らす**子どもたち** 約**2億4,600万人**

持続可能な社会をつくるためには、一人一人が安心して暮らせる、「平和」で「公正」な社会が担保されなければなりません。

パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のために必要な行動や方法を強化する。世界のあらゆる人たちの協力関係を活発にする。

様々な人が協力し、話し合い、自由なアイデアで取り組むことが、地球が抱える問題を解決し、よりよい社会をつくることにつながります。

SDGsに関するウェブサイト

- EduTown SDGs <https://sdgs.edutown.jp>
- 国連SDGs公式サイト(英語) <https://www.un.org/sustainabledevelopment/>
- 国連広報センター <https://www.unic.or.jp/>
- 日本ユニセフ協会 <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>
- JAPAN SDGs Action Platform(外務省) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

世界の子どもの現状を知ることができる。

子育て・教育分野

SDGsとの関連



主な取り組み内容

全ての子どもを安心して健やかに育むことができる環境の整備

- 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- 保育サービスの更なる充実や子育て世帯の負担軽減
- 親と子どもの居場所の充実、子どもの居場所への支援
- 子どもの活動や交流の場の充実
- ヤングケアラーや医療的ケア児などの困りごとを抱える子どもへの支援
- 子どもや若者の意見表明機会の確保

未来を生き抜く力の育成

- 郷土への愛情を育む学習の推進
- 英語教育・国際理解教育の充実
- 1人1台端末によるGIGAスクール構想の実現
- 適応支援教室事業の充実など児童生徒の状況に応じた指導・支援

「主な取り組み内容」のほかに、様々な取り組みがあるよ。どんな取り組みがあるか調べてみよう。



健康・福祉分野

SDGsとの関連



主な取り組み内容

いつまでも健康に生活できる環境づくり

- 健康ポイントアプリ等のデジタル技術を活用した健康づくりの推進
- 公共交通やシェアリングモビリティ、自転車の利用促進や、スポーツ活動環境の充実など、多様な行政分野の取組推進による自然に健康になれる環境づくり
- 働く世代や女性の健康づくりの促進

共に支え合う地域づくり

- 保健と福祉のまるごと相談窓口「エルU」や多様な支援機関による包括的な支援の推進
- 交通系ICカード「totra」を活用した高齢者外出支援事業の充実など高齢者福祉の推進
- 障がい者への就労支援、地域生活支援、親なき後への支援の充実
- スマートフォンの使い方などを教える地域のボランティア「宮デジサポーター」などによるデジタルに不慣れた高齢者等への支援



夢や希望がかなうまち スーパースマートシティ



安全・安心分野

SDGsとの関連



主な取り組み内容

災害に強いまちづくりの推進

- 災害に強い情報通信インフラの整備や避難所環境の充実などの災害対応力の強化
- 居住誘導による地域コミュニティの維持・活性化を通じた消防団・地域住民等による地域防災力の向上
- 都市機能の誘導による災害時に必要な医療や物資の効果的な供給確保
- 河川整備や田んぼガムの普及促進、内水氾濫対策など総合的な治水・雨水対策の推進

地域コミュニティの活性化

- まちづくり活動への参加促進
- 魅力ある自治会づくりへの支援

魅力創造・交流分野

SDGsとの関連



主な取り組み内容

地域資源の発掘・磨き上げによる賑わいと活力の創出

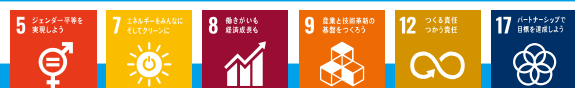
- 宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースやFIBA3x3 ワールドツアー宇都宮オープンなどの国際イベントの開催やプロスポーツチームとの連携による賑わいの創出
- アーバンスポーツの体験環境整備など、スポーツ資源のフル活用に向けた環境の整備
- 観光事業者や関係団体、県内外の自治体と連携したMICE開催と広域観光の推進
- 大谷地域をはじめとした北西部エリアの魅力向上による観光周遊の促進

官民一体となった戦略的な都市ブランドの推進

- 東京圏に対する移住定住プロモーションなどの戦略的な本市の魅力発信
- 市内在住の若年層などによる宇都宮ブランドの創出・発信
- UIターン就職の促進

産業・環境分野

SDGsとの関連



主な取り組み内容

女性活躍の推進

- 女性が働きやすい職場環境整備の推進
- 女性活躍に向けた企業の意識醸成(固定的性別役割意識の解消)
- 女性デジタル人材の育成
- 女性の健康づくりの促進(再掲)

地域特性を生かした産業の活性化

- 東京圏における交流・活動拠点「東京オフィス」を活用した企業誘致等の推進
- 産官学によるイノベーションの創出
- 新たな産業用地の開発・確保の促進
- スポーツを活用したオープンイノベーションを推進するプラットフォーム「みやSOIP」による産業・研究の活性化

再生可能エネルギーの地産地消の推進

- 「宇都宮ライブパワー株式会社(地域新電力会社)」による再生可能エネルギーの地産地消
- 脱炭素化をけん引するモデル地区(脱炭素先行地域)の実現と波及(太陽光・蓄電池の導入・末端交通の脱炭素化など)
- 官民連携による再生可能エネルギーの導入拡大
- 大谷石採取跡地内の冷熱エネルギー利用

廃棄物資源の有効活用等による循環型社会の形成

- 剪定枝や小型家電等の拠点回収事業による資源化の推進
- クリーンセンター下田原やクリーンパーク茂原におけるバイオマス発電(ごみ発電)等による熱エネルギーの有効活用
- プラスチック資源循環の促進
- フードドライブの普及などによる食品ロス削減

「もったいない運動」の推進

- 市民総ぐるみによるもったいない運動の推進
- 「公共交通の利用促進」などSDGsの達成に貢献する取組との連携

交通分野

SDGsとの関連



主な取り組み内容

拠点性の向上

- 全中心部の都市拠点における高次で多様な都市機能の集積促進と身近な地域拠点等における居住や生活利便施設の集積促進
- ライトライン沿線まちづくりの推進
- 都心部まちづくりの推進
- JR宇都宮駅西口周辺地区の整備

拠点間を結ぶ総合的な交通ネットワークの構築

- JR宇都宮駅西側へのライトライン導入
- バス路線の再編、地域内交通やシェアリングモビリティの確保・充実
- モビリティハブの推進
- 自転車走行空間整備の推進
- 交通系ICカード「totra」による運賃負担軽減策の充実
- 公共交通の脱炭素化などによるゼロカーボンムーブの促進

それぞれの取り組みが、経済、社会、環境にどんな影響をもたらすか、SDGsのどのゴールにつながるものなのかを考えてみよう。



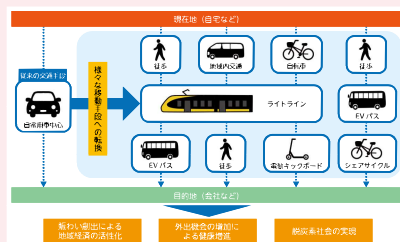
SDGsの推進に貢献する宇都宮市の取り組み

ライトライン開業により、スーパースマートシティの土台となる「NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）」の姿が目に見える形となってきました。まちと暮らしが大きく変わる中、SDGs実践に向けた「人づくり」や「ヒトの“うごき”」をさらに加速させ、宇都宮市のSDGsの達成に大きく貢献していくための3つの大きな取り組みを紹介します。

「MOVE NEXT UTSUNOMIYA ～乗らないなんて『もったいない』～」

主な取り組み

- ライフスタイルやライフステージに合わせたモビリティ・マネジメントの実施
- もったいない運動やSDGs人づくりプラットフォーム等と連携した情報発信
- 官民連携によるエコ通勤の普及促進やシェアリングモビリティ事業の展開



▲公共交通ネットワークの利用イメージ

エコ通勤取組のための活用情報

▶「うつつのみや健康ポイント」の活用
→歩く・自転車に乗るなどの健康づくり活動にポイントが付与され、貯まったポイントに応じてサービス・特典が受けられます！

→詳細は右のQRコードから確認してください。

▶「とちぎエコ通勤week」の活用
→栃木県では毎年、栃木県及び市町並びに民間事業所が一体でエコ通勤に取り組み統一週間「とちぎエコ通勤week」を実施しています。参加事業所は栃木県HP等で広報されるなどの利点がございます！

▲官民連携によるエコ通勤の普及促進

▼ 利用方法

Step1 アプリを開き、利用したい駅を選択する。

Step2 駅名を選択し、車両の有無を確認する。QRコードをスキャンする。

Step3 QRコードをスキャンし、写真撮影を行う。

Step4 写真撮影完了後、写真撮影を確認する。

▲シェアリングモビリティの事業の展開



▲MOVE NEXT UTSUNOMIYA

分からない言葉や調べてみたい取り組みは、宇都宮市のホームページなどで検索してみよう。



ここで紹介されている主な取り組みの中には、この後のページに掲載されているものがありますよ。



先生

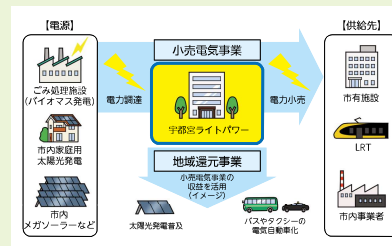
官民連携による再生可能エネルギー最大限導入と地産地消の推進

SDGsとの関連



主な取り組み

- 脱炭素化をけん引するモデル地区(脱炭素先行地域)の実現と波及（太陽光・蓄電池の導入・公共交通の脱炭素化）
- ライトラインへの再生可能エネルギーの供給（ゼロカーボントラnsポート）や公共交通の脱炭素化等によるゼロカーボンムーブの構築に向けた取り組みの推進
- 宇都宮ライトパワー株式会社によるエネルギーマネジメントの実施と再エネ利用の最大化
- 宇都宮ライトパワー株式会社による事業収益を活用した地域の脱炭素化、市民生活の質の向上に資する事業の実施



▲再生可能エネルギーの地産地消のイメージ



▲環境未来都市うつつのみや

SDGs達成に資するパートナーシップ基盤の充実

SDGsとの関連

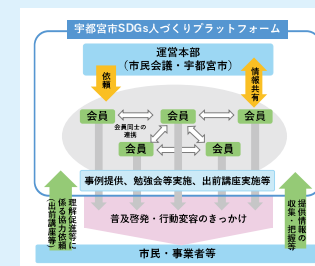


主な取り組み

- 「SDGs人づくりプラットフォーム」における市民・事業者のSDGsの実践促進に向けた好事例の発信及び普及啓発
- 「SDGs人づくりプラットフォーム」におけるSDGs達成に資する新規取り組み創出の場の提供や会員間の交流機会の創出、市民・事業者・行政をつなぐ相談窓口及び活動支援
- 「共創のまちづくり」の強化・充実によりSDGs達成に貢献するための、あらゆる主体の交流・対話の場「共創センター」の設置



▲SDGs人づくりプラットフォームのHP



▲SDGs人づくりプラットフォームのイメージ



▲SDGs人づくりプラットフォーム